



SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム
社会的孤立・孤独の予防と
多様な社会的ネットワークの構築

公開シンポジウム

職場の孤独

-なぜ組織にいても一人と感じてしまうのか- 最新の研究知見の紹介

2026年
11月24日(火)
14:30~17:00
(受付開始:13:45)

我々プロジェクトグループは、RISTEX受託研究として、職場の孤独や孤立に関するプロジェクトを展開してきました。本プロジェクトでは、スマホを用いて、職場内の孤独を意識レベルと非意識レベルで測定するORINAS（オリナス）というシステムを開発しました。また、開発の過程で、職場の孤独に関する様々な知見を発見してきました。

本年度は、プロジェクトの成果をまとめた書籍を刊行すると共に、さらに研究を進めてきました。本シンポジウムでは、この書籍の内容を紹介し、我々が得てきた職場の孤独に関する最新の研究知見をお話しします。

対面会場

筑波大学東京キャンパス
文京校舎134教室
丸の内線茗荷谷駅下車
(徒歩約5分)

オンライン

Zoomにて配信
※後日URLをお知らせ



お申込み

参加費無料

申し込み：下記ページからお入りください。

<https://forms.gle/rF9L5274HyAF EzD1A>

QRコードからも入れます。

申込締切

11月17日（火）



最先端の「知」を、最前線に。

働く人への心理支援

開発研究センター

[T-One ラボ]

【問い合わせ先】 tsukuba.tone.lab@gmail.com



最先端の「知」を、最前線に。

働く人への心理支援

開発研究センター

【T-One ラボ】

プログラム

開会の挨拶 (14:30~14:40)

岡田 昌毅 (筑波大学特任教授・働く人への心理支援開発研究センター長)

研究全体の紹介 (14:40~15:00)

松井 豊 (プロジェクト代表、筑波大学名誉教授)

本プロジェクトの研究成果 (15:00~16:45)

1. 主観的指標グループの発見

中村 准子 (筑波大学働く人への心理支援開発研究センター准教授)

2. 職場の孤独感への対処と人事担当者・支援者向け研修の展開

原 恵子 (埼玉学園大学教授)

3. 孤独検出ストループテストの知見

大塚 泰正 (筑波大学教授)

4. ORINASで20代社員の離転職を予測する

三好きよみ (東京都立産業技術大学院大学教授)

質疑応答 (16:45~17:00)

【書籍】

松井豊(編著)

『職場の孤独——なぜ組織にいても一人と感じてしまうのか』河出書房新社
(2026年10月末刊行予定)